

巻頭言

「人・物・金と時間」

理事長 新谷 友良

平成 28 年度通常総会は皆さまのご協力が無事終了することができました。また年会費改定につきましては総会でご承認いただきましたが、今回提案するにあたって、協会活動に関わる人・物・金と時間の問題を考えてみました。

協会は会員 700 人と規模は決して大きくはありませんが、それでも活動を行うためには、人・物・金の制約条件があります。また、活動は時間の制約なしに行って良いものではなく、優先順位を考えながら一定時間の中で計画を実行し、その内容を評価する必要があります。

何かを始めるときに、その制約条件を考えることはそんなに簡単なことではありません。みんなが「やろう！ 頑張ろう！」と言っているときに、「お金がいくらかかるの？ そのお金を誰が用意するの？」というのは、集まった人の意気込みに水をかけるようで、決して得な役回りではありません。また、「いつまでにやらなければならないの？ 同じときにこれもやらなければならないけど、後回しにして構わない？」と言うと「お前はやる気があるのか？」と言われそうです。

「総経理」という言葉があります。中国語で、「会社の事務を統轄管理する責任者」を意味し、日本語の「経理部長」ではなく「社長」に相当します。また、「経理」という言葉については、東経や西経などという言葉があるように「航海中の自分の船の位置を知る仕組み」が語源にあると聞いた記憶があります。協会を船に例えれば、協会はいつまでにどこに行こうとしているのか、そして今どのあたりを航海しているのかを考える仕組みが「経理」と理解することができそうです。

自分の乗っている船に燃料がどれくらい積まれているのか、そして、目指す日時に目的地に着くために今積んでいる燃料で足りるかどうかを考えることは、とてもリアルな問題です。総会でご承認いただいた活動計画は、平成 28 年度に協会が目指す到着地と航路を示しています。活動予算書は積んでいる燃料とその使い方を示しています。理事会は、活動予算という燃料の消費具合を見ながら、活動計画という航路をたどり、協会を目的地に予定通り到着させるため、全力を尽くしてまいります。

平成 28 年度末には無事目的地に到着できるよう、皆さまのご協力をよろしく願います。